平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名　株式会社やまびこ　　上場取引所　東
コード番号　6250　URL　http://www.yamabiko-corp.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 永尾　慶昭
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 瀬古　達夫　TEL 0428-32-6111

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	23,183	7.7	1,730	200.0	1,698	422.8	1,299	―
23年3月期第1四半期	21,530	1.9	576	△17.0	324	△46.0	△60	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　1,494百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△209百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	135.48	―
23年3月期第1四半期	△5.56	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	82,379	25,459	30.6	2,627.85
23年3月期	73,690	24,300	32.7	2,510.90

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　25,206百万円　23年3月期　24,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	35.00	35.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		―	―	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,000	3.0	2,700	19.0	2,600	45.8	1,900	121.6	198.08
通期	85,000	1.9	2,300	△20.3	2,100	△18.3	1,400	6.8	145.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,027,107 株	23年3月期	11,027,107 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,435,046 株	23年3月期	1,434,683 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	9,592,256 株	23年3月期1Q	10,876,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、農業機械市場が大震災の直接的被害のみならず、原発事故による放射能および風評被害の影響などによって需要が落ち込みましたが、建設機械市場は震災の復旧・復興用に需要が拡大しました。

海外は、リーマンショックによる世界的な景気後退以降、回復基調で推移してきた屋外作業機械市場が最大市場である米国の天候不順や、欧州における財政問題に伴う市場経済の混乱などの影響によって市況は総じて低調に推移しました。

また、為替相場は、前年同四半期に比べて対ユーロはほぼ同水準となりましたが、対ドルは円高で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、震災の影響によって生じたサプライチェーンの混乱に対応するため生産計画の見直しや仕入先との調整を行うなど生産・物流体制の立直しを図り、製品・部品の安定供給に努めました。

販売面においては、国内では排出ガス規制をクリアした環境性・経済性に優れたエンジン搭載機種の販促活動としてＣ＆Ｇ（クリーン＆グリーン）キャンペーンを開始し、海外向けには世界中のどの生産拠点においても統一された“やまびこ品質基準”の下で生産される当社エンジン製品が誇る最高水準の品質を訴求する「JAPAN Technology」と銘打ったプロモーションを実施するなど積極的に拡販活動を展開しました。

また、前期に引き続き経費削減に取り組むなどグループをあげて総原価低減に努め、収益の確保も図りました。

更に、一般産業用機械分野の販売子会社であるやまびこ産業機械株式会社とやまびこレンテックス株式会社を平成23年４月１日に合併し、国内販売力の強化と業務・資産の効率化を図りました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、次のとおりとなりました。

［売上高］

当第１四半期連結累計期間の売上高は、震災および円高の影響があったものの国内外ともに概ね堅調に推移し、231億83百万円（前年同四半期比7.7％増）となりました。その内訳は、国内売上高が106億66百万円（同12.6％増）、米州の売上高は91億54百万円（同0.9％増）、米州以外の海外売上高は33億62百万円（同12.6％増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①　小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、165億87百万円（前年同四半期比1.2％増）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、震災の影響や春先の低温によって刈払機の動きが鈍く苦戦しましたが、チェンソーや動力散布機をはじめとした小型防除機、およびエンジンカッターなどが伸長し前期を上回る売上を確保しました。

海外は、主力の北米市場で南部の干ばつの影響などによって刈払機の販売が落ち込みましたが、パワーブロワーが大きく伸長したことや、欧州において、ロシアが伸長したことなどで販売は総じて好調に推移しました。ただし、円換算の売上高は円高により前期並みに留まりました。

その結果、売上高は119億19百万円（前年同四半期比0.6％増）となりました。

・農業用管理機械

国内は、東北地区を中心に震災による買い控えの影響があったものの、前期に引き続き北海道でブームスプレーヤが伸びたことや省力・安全機械として普及が進んだ畦草刈機が好調を維持したことなどで売上高は前期を上回りました。

米国の農業機械製造および販売子会社は、大豆、ジャガイモの価格上昇を背景に販売が好調で、前期に比べて売上が伸長しました。

その結果、売上高は46億67百万円（前年同四半期比2.8％増）となりました。

②　一般産業用機械

震災復旧・復興に伴う建設機械の需要増加に加え、非常時における予備用機材としての需要などもあって発電機、溶接機、投光機が伸長し、売上高は前期に比べて大幅に増加し21億71百万円（前年同四半期比75.9％増）となりました。

③　その他

売上の大半を占めるアクセサリーおよびアフターサービス用部品が国内外ともに好調で、売上高は44億24百万円（前年同四半期比13.4％増）となりました。

［損　益］

営業利益は円高による利益率の低下はありましたが、売上の増加、原価低減、未実現利益の減少などにより前年同四半期に比べ大幅な増益となる17億30百万円（前年同四半期営業利益比11億53百万円増）となりました。

経常利益は16億98百万円（前年同四半期経常利益比13億73百万円増）、四半期純利益は12億99百万円（前年同四半期純利益比13億60百万円増）となり、いずれも前期に比べて大幅に改善しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて86億88百万円増加し823億79百万円となりました。

その主な要因は、季節的要因により受取手形及び売掛金の増加59億34百万円、商品及び製品の増加16億１百万円、現金及び預金の増加15億67百万円等によるものです。

②　負債

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて75億29百万円増加し569億20百万円となりました。

その主な要因は、借入金の増加43億67百万円、支払手形および買掛金の増加21億３百万円等によるものです。

③　純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて11億58百万円増加し254億59百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加９億63百万円、為替換算調整勘定の増加１億58百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント減少し、30.6％となりました。

④　キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益17億26百万円、仕入債務の増加21億39百万円がありましたものの、売上債権の増加57億96百万円、たな卸資産の増加13億26百万円等により、20億28百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得５億25百万円、有形固定資産の売却２億79百万円等により、２億89百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加44億69百万円、配当金支払３億35百万円、長期借入金の返済２億55百万円等により、38億62百万円の収入となりました。

この結果、当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、15億67百万円増加し56億21百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災に伴う生産遅延などへの影響を見通すことが難しいため未定としておりました第２四半期連結累計期間の業績予想の公表と、併せて、第２四半期の業績予想等を踏まえ平成23年５月13日に公表しました通期の連結業績予想の修正を行いました。詳細につきましては、本日（平成23年８月11日）別途公表いたしました「業績予想の公表および修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,053	5,621
受取手形及び売掛金	14,261	20,196
商品及び製品	21,450	23,052
仕掛品	935	889
原材料及び貯蔵品	5,735	5,754
その他	1,902	1,791
貸倒引当金	△259	△285
流動資産合計	48,079	57,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,009	7,770
土地	8,918	8,848
その他（純額）	5,139	5,199
有形固定資産合計	22,067	21,819
無形固定資産	575	553
投資その他の資産		
その他	3,997	4,008
貸倒引当金	△1,027	△1,022
投資その他の資産合計	2,969	2,986
固定資産合計	25,611	25,359
資産合計	73,690	82,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,295	17,398
短期借入金	18,238	22,843
1年内返済予定の長期借入金	2,222	2,066
未払法人税等	284	295
引当金	―	669
製品保証引当金	648	705
その他	3,321	3,700
流動負債合計	40,009	47,679
固定負債		
長期借入金	3,406	3,324
退職給付引当金	3,688	3,611
環境対策引当金	34	34
その他	2,250	2,270
固定負債合計	9,381	9,241
負債合計	49,390	56,920

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,584	9,584
利益剰余金	12,296	13,260
自己株式	△1,467	△1,468
株主資本合計	26,413	27,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	295
繰延ヘッジ損益	△7	△2
為替換算調整勘定	△2,622	△2,463
その他の包括利益累計額合計	△2,327	△2,170
少数株主持分	214	252
純資産合計	24,300	25,459
負債純資産合計	73,690	82,379

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	21,530	23,183
売上原価	15,894	16,267
売上総利益	5,635	6,916
販売費及び一般管理費	5,058	5,185
営業利益	576	1,730
営業外収益		
受取利息	21	9
受取配当金	45	39
その他	83	85
営業外収益合計	150	134
営業外費用		
支払利息	104	92
為替差損	295	58
その他	3	16
営業外費用合計	402	166
経常利益	324	1,698
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40	－
固定資産売却益	0	58
特別利益合計	40	58
特別損失		
固定資産売却損	2	6
固定資産除却損	1	15
投資有価証券評価損	173	－
その他	42	7
特別損失合計	220	30
税金等調整前四半期純利益	144	1,726
法人税、住民税及び事業税	417	454
法人税等調整額	△215	△51
法人税等合計	202	402
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△58	1,323
少数株主利益	2	24
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△60	1,299

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△58	1,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	△7
繰延ヘッジ損益	10	5
為替換算調整勘定	11	172
その他の包括利益合計	△151	171
四半期包括利益	△209	1,494
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△202	1,456
少数株主に係る四半期包括利益	△7	38

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144	1,726
減価償却費	681	628
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△134	△77
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△62	14
受取利息及び受取配当金	△67	△48
支払利息	104	92
投資有価証券評価損益（△は益）	173	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	642	669
売上債権の増減額（△は増加）	△3,039	△5,796
たな卸資産の増減額（△は増加）	△54	△1,326
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,197	2,139
未収消費税等の増減額（△は増加）	169	576
その他	440	△162
小計	△2,199	△1,564
利息及び配当金の受取額	67	49
利息の支払額	△71	△87
法人税等の支払額	△365	△421
災害損失の支払額	－	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,568	△2,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	100	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△826	△525
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	279
信託受益権の売却による収入	597	－
その他	△24	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	4,563	4,469
長期借入金の返済による支出	△255	△255
配当金の支払額	△326	△335
その他	△12	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,969	3,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	24
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,167	1,567
現金及び現金同等物の期首残高	5,116	4,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	※　6,284	※　5,621

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	16,392	1,235	17,627	3,902	－	21,530
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,143	916	13,060	1,388	△14,449	－
計	28,536	2,151	30,688	5,291	△14,449	21,530
セグメント利益又は損失（△）	765	△114	650	959	△1,033	576

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,033百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	16,587	2,171	18,759	4,424	－	23,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,359	1,553	12,912	1,341	△14,254	－
計	27,946	3,724	31,671	5,766	△14,254	23,183
セグメント利益	1,254	60	1,315	1,458	△1,044	1,730

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,044百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。